

14~1815 ウィーン会議
成立
1815 ウィーン議定書★決定事項
・同盟, 同盟結成★内容
ラテン=アメリカ諸国の独立
★経過, 英米の対応, 性格
指導者 { (コロ
(ペルー
1821 **ギリシアの独立**★経過
~29
1830 ロンドン会議で独立承認
1830 **七月革命とその影響**
1830 の独立
30~31 の反乱
イギリスの自由主義的改革
《大陸諸国の産業革命始まる》
《アメリカ合衆国の発展》
社会主義の台頭
空想的社会主義 { 英
仏
仏
科学的社会主義 { 独
英
★特色
1848 の発表
崩壊 1848 **二月革命とその影響** 諸国民の春

原理》 主義
1815 ウィーン議定書★決定事項
・同盟, 同盟結成★内容
ラテン=アメリカ諸国の独立
★経過, 英米の対応, 性格
指導者 { (コロ
(ペルー
1821 **ギリシアの独立**★経過
~29
1830 ロンドン会議で独立承認
1830 **七月革命とその影響**
1830 の独立
30~31 の反乱
イギリスの自由主義的改革
《大陸諸国の産業革命始まる》
《アメリカ合衆国の発展》
社会主義の台頭
空想的社会主義 { 英
仏
仏
科学的社会主義 { 独
英
★特色
1848 の発表
崩壊 1848 **二月革命とその影響** 諸国民の春

ブルボン朝 復古王政
【レイ18世】 14~24 反動政治
~24 ・欽定憲法, 制限選挙制
ウィーン会議に 出席
1824
【シャルル10世】 24~30 反動政治を強行
~30 { 貴族, 聖職者を保護
首相ポリニャックの反動政治
1830 を占領
1830 **七月革命**★経過, 影響
【レイ= フィリップ】 30~48 栄光の三日間
七月王政 家
{ 選挙制, 貴族の世襲廃止
の支配する政治
〔1830年代 産業革命の開始・進展〕
台頭 { 産業資本家 →ブルジョワ共和派
賃金労働者 →社会主義者
第二共和政 { 改正運動
ギゾー内閣の弾圧
1848 **二月革命**★経過, 性格意義
1848 大統領に 当選
1851 クーデターで独裁権力掌握

【イギリス】
1801 大ブリテン= アイルランド連合王国
1811 運動 (機械打ち壊し)
~17
カニングの自由主義外交
ラテン= アメリカの独立支持
自由主義的改革
1828 の廃止★アイルランド問題
1829 法
指導者
1832 改正 ウィッグ党
{ の廃止 グレー内閣
の議会進出
1833 の成立
1837 運動
~48 ・ を掲げ請願運動
労働者の 権獲得要求
【**ヴィクトリア女王**】 37~1901
政党の再編成 { トーリー党⇒ 党
ウィッグ党⇒ 党
自由貿易主義 産業資本家の要求
1846 の廃止★意義
指導者 ,
1849 の廃止

自由主義と国民主義
英
仏
帝国主義
独
米

フランス第二帝政
イタリアの統一
ドイツの統一
南北戦争 1864結成
ロシアの改革 第1インターナショナル
東方問題
1871 **ドイツ帝国成立**
イギリス政治の安定と前進
1875 (英) ディズレイリ 買収
ドイツ統一後のビスマルクの政治
フランス第三共和政
1889結成 第2インターナショナル
1890 **帝国主義の時代**

第二帝政 ボナパルティズム
【**ナポレオン3世**】 52~70 国民投票で即位
53~56 戦争
56~60 アロー戦争
1859 イタリア統一戦争に参戦
1857~67 派兵
1861~67 に失敗
第三共和政
1870 戦争に敗北。皇帝退位
1871 の臨時政府 対独講和
1871 の成立
★経過, 性格, 意義
独に , 地方を割譲
1875 の成立
《小党分立で政情は不安定》
《1880年代より帝国主義に入る》
軍部の台頭
《ヨーロッパ国際政治で孤立》対独復讐熱
1887~89 事件
共和制の危機
1891 同盟の成立 ★外交革命

ヴィクトリア時代 大英帝国の全盛期
世界の工場 最強の海軍
広大な植民地
《クリミア戦争以後 政策》
二大政党の政権交代による政党政治
{ 自由党党首
保守党党首
1867 の成立 自治領の最初
1867 改正
に参政権
1870 制定 公立学校
1870 土地法の制定★背景
1871 制定
1875 がスエズ運河株買収
《イギリスが 時代に入る》
1877 インド帝国の成立
★漸進的な
1884 協会の結成 社会主義
1884 改正
に参政権
1886 法案 成立せず
1887 第一回植民地会議開催
本国, 自治領, 植民地